

事務所通信 パクチャー

2023年3月号

税理士法人PLUS 1

〒542-0081

大阪市中央区南船場 1-16-10 大阪岡本ビル5階

電話：06-6264-6135 FAX：06-6264-6136

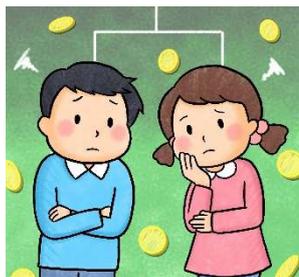


子どものしつけは「かりてきたねこ」といわれます。「か」感情的にならない。「り」理由を話す。「て」手短に済ませる。「き」キャラクター（性格や人格）に触れない。「た」他人と比較しない。「ね」根に持たない。「こ」個別に伝える。人生訓ともいえそうな「かりてきたねこ」。自分のためにも覚えておきたいものですね。

知っどこ! 「税」のマメ知識

今月のマメ知識：【相続は総合的に判断する必要がある】

今回は夫婦と子どもが2人の4人家族だった場合の相続について考えてみましょう。夫婦の一方が亡くなり、残された配偶者と子どもが相続をしました。これを「1次相続」といいます。その後、残された配偶者も亡くなり、子どもが相続をしました。これを「2次相続」といいます。肝心なことは、



1次相続での財産の分け方しだいで、1次と2次の合計の相続税額が数百万円も変わってくる場合があるということです。例えば遺産が1億6000万円だったとして、次のパターンで計算してみました。(1) 1次相続：残された配偶者が8000万円・子が4000万円ずつ／2次相続：子が4000万円ずつ、(2) 1次相続：残された配偶者が全額の1億6000万円／2次相続：子が8000万円ずつ。それぞれの合計相続

税額は(1) 1330万円、(2) 2140万円となり810万円の差が出ます。では(1)の方法が良いのかといえ、必ずしもそうとはいえ、遺産の内容や家族状況によってさまざまなので総合的に判断することが大切です。

事務所メンバーの『食』について

山地：子供の頃は嫌いだった和食。特に煮物などは白米に合わず、夕飯で出てくるたびに嫌いだった記憶があります。今となっては母親が良く作ってくれていた煮物がいかに有難ったかを痛感します。なんせ面倒くさい。下ごしらえが大変ですが、あてにピッタリなんですよ。里芋の煮っ転がしが懐かしい。

中瀬：昼食はカップ麺が多いです。家で食べない(食べさせてもらえない)反動なのか、健康に良くないと分かっていてもつつい手を出してしまいます。お菓子味などの変わり種も興味本位で買ってしまいますが今までに当たりはありません。一応気を使って豚骨やニンニク系を職場では食べないようにしています。

川上：好き嫌いが激しいタイプです。特に火の通っていないものがダメです。チャレンジはしたのですが何が美味しいのかわかりません。何食べてるの?とよく聞かれます。自炊をしてもうどんを作るくらいで普段は買ったものです。週3はデパ地下総菜で、閉店間際に行くとコンビニより安くて少しリッチな気分になれます笑

佐藤：簡単な料理しか作れませんが、自炊を頑張っています!お酒と一緒に飲むことが多く、味の濃い料理も好きのため、コチュジャンたっぷりのピリ辛野菜炒めをよく作ります。自分好みの味付けができるので、つつい食べ過ぎてしまいますが、友人・家族にもふるまえるよう、オシャレな料理を作ることが当分の目標です!

百武：家事の中で一番苦手なのが料理。困った時はカレー・シチュー・お好み焼き等に逃げて、時間に余裕ある時は10個の材料を入れた豚汁を作り翌日まで食べてますね。手をかけた料理も作るけど、ちょこちょこ手抜きもしないと毎日やっつけられません(笑) 小遣い稼ぎに子どもに作ってもらって楽しんでもらうことも。

今月の いろいろ 「掲示板」

「登録番号」の確認方法

令和5年10月よりインボイス制度が開始します。大きな変更点として、適格請求書発行事業者であることを示すため、『登録番号』を自社が発行する請求書へ記載する必要があります。今回は取引先の登録番号を確認する方法について解説します。適格請求書発行事業者として登録された情報は国税庁『適格請求書発行事業者公表サイト』にて公表されており、13桁の登録番号を入力することで、会社であれば法人名・住所などを確認できます。また、13桁の登録番号は通常「法人番号」と一致しており、法人番号は国税庁『法人番号公表サイト』より検索が可能です。取引先がインボイス登録を終えているか確認したい際は、上記の手順に沿って確認してみたいかがでしょうか。皆様方のお手元にも取引先からインボイス登録の確認通知が届き出しているようですが、問合せ通知を出さなくとも上記の方法で確認可能ですよ。

振り向けば あそこにも 「商売のヒント」 ここにも

今月の商売のヒント：【二進も三進もご破算で】

「二進も三進も」と書いて「にっちもさっちも」と読みます。語源はそろばん用語で、二進（にしん）三進（さんしん）の音が変化して「にっち」「さっち」になったようです。二進とは $2 \div 2$ 、三進とは $3 \div 3$ のことで、どちらも割り切れる計算です。そこから転じて、2でも3でも割り切れないことを「二進も三進もいかない」というようになり、計算が合わないことを意味するようになったそうです。商売をしていれば二進も三進もいかない場面に出くわすことがあります。どう頑張っても行き詰って身動きがとれない、いわゆる逆境ですが、逆境は人間が試される場面でもありますね。思うようにならないときは身をかがめて力を蓄え、次に跳ぶ準備をしておく人。事を成すは逆境のときと捉え、ピンチをチャンスに変えるべく行動する人。どれが正解ということはありませんが、ひとつだけダメなパターンがあるとしたら、それは「何もしないこと」でしょう。「今は動かない」と決めて積極的に何もしない状態と、自分では何も選ばず何も決めず、ただ何もしない状態は、たとえばたから同じに見えても、実際はまったく別物です。特に世の中が目まぐるしく



変化している今のような時代には、何もしないことが一番のリスクになるといわれます。では動けないときはどうするか。その方法のひとつはリセットです。そろばんでは、次の計算に移るとき、先に置いたたまを全部払ってゼロにして、新しい計算ができる状態にすることを「ご破算（ごはさん）」といいます。二進も三進もいかないときは、今までの常識や経験をご破算して前に進む。そんな発想の転換が必要かもしれません。



李です。幼少期から果物が大好きで家にはお菓子は全くないものの季節の果物が常にあり、食後は必ず家族で果物を楽しむ環境で育ちました。そのせいか今も鮮度を重視し産直で果物を購入します。反面、何故うちにはお菓子のストックが無いのかと夫によく言われます💦確かにスーパーに行ってよその買い物カゴをチラリ覗き見するとほとんど何かしらお菓子が入っていました。普段お菓子を好んで食べないのですが、特にリンゴ系の加工品は大好きです。先日、ネットで知ってお試し購入した贅沢なタルトタタンをご紹介します。タルトタタンやアップルパイは紅玉のような酸味の強い林檎使用するのが一般的。信州・長野県が誇る林檎の品種、シナノスイートを贅沢過ぎるほどに使ったタルトタタンです。その林檎の厚みが、アンバランスな程にスゴイのです!!あまりの美味しさに、食べた方から加工前のシナノスイート🍏を食べてみたいと言われましたよ。ヒントですね😊